

防除情報

長崎県病害虫防除所長

平成29年度病害虫発生予察防除情報第7号

ヒメトビウンカの発生状況及びイネ縞葉枯病の防除対策について

6月2半旬にヒメトビウンカがネットトラップに捕獲されており、飛来した可能性が考えられます。圃場におけるヒメトビウンカ及びイネ縞葉枯病の発生状況は下記のとおりとなっておりますが、今後の発生に十分注意してください。

記

1. 発生状況等

- (1) 6月7～9日にかけて、ネットトラップ（諫早市、2か所）でヒメトビウンカが捕獲され、6月2半旬当りの捕獲量としては過去10か年で最も多い（表1）。

表1 諫早市におけるネットトラップの捕獲数（頭）

月日	6/7	6/8	6/9	計	平年（6月2半旬）
ネットトラップA(予察圃場横)	66	42	38	146	—
〃 B(防除所横)	20	44	19	83	3.5

- (2) 6月上旬の巡回調査（41筆）の結果、早期水稻におけるヒメトビウンカの株当たり虫数は0.4頭（平年 0.1頭）、発生圃場率は97.5%（平年37.5%）であった。縞葉枯病の発生は認めなかった（平年 発生株率0.0%、発生圃場率0.35%）。
- (3) 6月3半旬の県予察圃場（諫早市、無防除）調査の結果、ヒメトビウンカの株当たり虫数は0.5頭（平年 0.3頭）であった。縞葉枯病の発生は認めなかった（平年 発生を認めない）。

2. 防除対策について

- (1) 今後、移植を行う圃場ではウンカ類に効果のある箱施薬剤を必ず施用する。
- (2) 圃場でのヒメトビウンカの発生状況に注意し、発生が多い場合には防除を行う。
- (3) 縞葉枯病の発病株を認めた場合は早急に抜き取る。
- (4) 窒素過多は縞葉枯病の発生を助長するので適正な肥培管理に努める。

【参考 ヒメトビウンカ（第1世代）の生息量及びイネ縞葉枯ウイルスの保毒状況】

- (1) 5月中下旬の小麦圃場及びイネ科雑草地（24地点、1地点あたり概ね5圃場）においてヒメトビウンカの生息量調査を行った結果、捕虫網による20回すくいとり当たり虫数は9.8頭（平年 10.8頭）と平年並（図、表2）で、中齢主体であった。
- (2) 上記調査時に採集したヒメトビウンカについてイネ縞葉枯ウイルスの保毒虫率調査（簡易エライザ法）を行った。その結果、保毒虫率は0.1%（平年 1.2%）と平年より低かった（図、表2）。

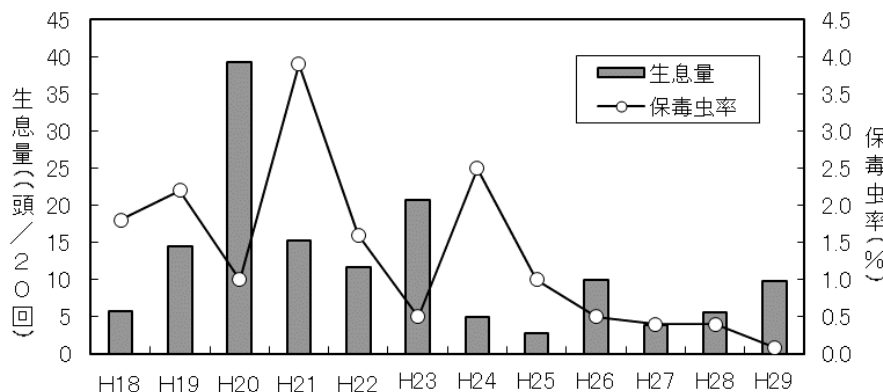


図 小麦圃場及びイネ科雑草地におけるヒメトビウンカ(第1世代)の生息量及びイネ縞葉枯ウイルス保毒虫率の推移

※ 保毒虫率は、H18～26はラテックス凝集反応法、H27～29は簡易エライザ法で実施

表2 各地点におけるヒメトビウンカ（第1世代）の生息量及びイネ縞葉枯ウイルスの保毒虫率

採集地点	検定虫数	保毒虫率 (%)	生息量 (20回すくいとり 頭数)
長崎市琴海町戸根	24	-	8.8
長崎市外海町神ノ浦	-	-	0.2
西海市大瀬戸町	2	-	0.1
諫早市小船越	94	0	21.3
諫早市小野	94	0	16.9
諫早市森山	94	0	14.1
諫早市多良見町	29	-	2.4
大村市鈴田	94	1.1	11.1
東彼杵町三根	94	0	58.9
雲仙市吾妻町	94	0	18.8
雲仙市国見町神代	94	0	112.8
佐世保市長畑	94	0	26.1
佐世保市針尾	46	0	2.5
松浦市志佐	25	-	1.0
平戸市紐差	30	0	1.6
五島市三井楽	12	-	1.3
五島市大津	6	-	0.6
五島市崎山	-	-	0
五島市富江	4	-	0.3
五島市岐宿	42	0	13.8
杵岐市郷ノ浦町	94	0	11.1
杵岐市芦辺町	94	0	10.8
杵岐市勝本町	1	-	0.1
対馬市厳原町佐須	1	-	0.1
対馬市上県町佐護	-	-	0
対馬市上県町仁田	1	-	0.2
県全体	1163	0.1	9.8
平年値	-	1.2	10.8

* 保毒虫率については、30頭以上捕獲した調査地点のみ算出

- 6月1日から8月31日までの3か月間を「農薬危害防止期間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。
- 長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。
「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>
- この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。
長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

